



三条北ロータリークラブ週報

友達になろう

BE A FRIEND

国際ロータリー会長 ビル・ハントレー 第2560地区ガバナー 大島精次

例会日

1995. 1 . 17

累計 No 398

当年 No 27

会長／大野新吉

幹事／米山忠俊

SAA／馬場直次郎

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

FAX ☎33-8972



行事：ロータリー情報委員会主管

卓話「ロータリー理解推進月間に因んで」館林RC会員 谷田川肇様

出席：本日の出席 52名中38名

先週の出席率 52名中47名 90.38% (前年同期96.36%)

先週のメークアップ：1月11日 三条RCへ 中條耕二さん

13日 吉田RCへ 吉川吉彦さん

ビジター：三条RCより 古澤富雄さん 斎藤弘文さん 鈴木宗資さん 加藤紋次郎さん

三条南RCより 韭沢喜一郎さん

ゲスト：館林RC会員 谷田川肇様

会長挨拶：大野新吉

本日の早朝5:46分頃近畿地方にマグニチュード7.2の地震が広い地域におこりました。早朝の事で起きてテレビのスイッチを入れますと各局この報道一色で現在もなお続いております。現在点で死者203名、倒壊家屋の下敷となり今現在救出を待っている方々がおられます。時間と共に被害は増大する一方、発生場所が場所ですので重要文化財の被害が出ていると報道されています。国の指導者は国民の事とはかけはなれた私利、私欲の中で明け暮れていますが無能の政府と呼ばれないよう災害対策を是非お願いしたいものです。亡くなられた方へ心よりのご冥福と災害地域のいち早い復興を心よりお祈り申し上げる次第でございます。

本日はロータリー理解推進月間に因んで谷田川肇さんを当クラブロータリー情報委員の山上さんご紹介でお招きしてご講話をお願い致しました。谷田川さんは群馬県館林市の館林ロータリークラブに所属されています。館林クラブは群馬第四分区で36年の歴史を有するクラブでございます。ご職業はヤタガワ物流サービス株式会社の社長さんをしておられ、RCでは地区の職業奉仕委員長をお務めになった外インターアクト、ローターアクトなどの育成などにもお力を尽くされております。

他の詳しいご紹介はロータリー情報委員の山上さんをお願いして本日の卓話で、すこしでもロータリーの精神を勉強させて頂きたいと思いますので何卒宜しくお願い申し上げます。

幹事報告： 米山幹事

- ◇ ロータリー情報に関する卓話講師派遣についての案内及び申し込みが参っております。
- ◇ ピナツボ火山土石流災害、北海道東方沖地震災害義援金を一人500円として拠出をお願いします。

委員会報告：

親睦委員会 稲田委員長

- 1月24日（火）さどやさんで新年会です。開会時間が7：00 P m～に変更になりました。
- 出席委員会 五十嵐副委員長
- 24日の新年会を100%出席日といたしますので、皆様からのご協力をお願いしたいと思います。
- なおやむをえず欠席の場合はメーキャップをお願いします。

ニコニコボックス：

- 大野新吉君 遠路群馬県館林より谷田川様ようこそおいで下さいました。本日はロータリー理解月間に因んでのご講話宜しくお願いします。
- 平松利朗君 谷田川様、遠路ご苦労さまです。ご指導よろしくお願い致します。
- 梨本清一君 神戸の惨状を聞き今日はとてもニコニコボックスという状況ではないのですが早退させて頂きますのでお詫びのしるしにボックスへ。
- 今井克義君 伊豆半島で満開の梅の花の下、地震にビクビクしながらのゴルフを楽しんできた翌日に神戸沖の地震とは…。佐藤義英君からの握り分です。
- 堀川正幸君 遅くなりましたが、ボックスの入れ初めです。
- 山崎勲君
- 佐藤啓策君 新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。
- 山本賢君 協力します。
- 山上茂夫君 谷田川様今日の卓話を有難うございます。遠くからの御足労に感謝致します。

卓話： 「ロータリー理解推進月間に因んで」 館林RC会員 谷田川肇様

ロータリー理解推進月間に因んでゲストスピーカーの谷田川肇さんの御紹介を致します。

群馬県館林市の群馬第四分区36年の歴史を有する館林ロータリークラブに所属されております。御職業はヤタガワ物流サービス株式会社の社長さんをしておられます。RCでは地区の職業奉仕委員長をお務めになった外、インターアクト、ローターアクトなどの育成などにもお力を尽されております。また、そのRCに対する御理解と御見識は私達の学ぶべきところ多とするものであります。その他にも多くの Rotary に関する著書をものしておられ、[たかゞロータリー-されどロータリー] [私とロータリー] [職業奉仕の萌芽] などの外ロータリークラブへの入会入門のガイドン

皆さんが喜んでくださり、行政に寄付することより有意義であると思います。

私どもの広沢純孝PGのメッセージ『ロータリーを分かち合おう』の精神であり、そのものが奉仕の理想だと言えるのです。毎週クラブの例会に出席して、ロータリーの知識を吸収し、自分の企業に戻り、ロータリーを分かち合ってほしいと思います。企業にあっては昼食後のせめて30分間、ロータリーの友や、クラブ会報にもう一度、眼を通すことから始めて下さい。「情報は与えられるものではなく、自ら得るものなのです」もう少し延長出来れば、ご自分の部屋で“瞑想”する時間を持ったら如何でしょうか。ロータリーの諸活動、諸問題、ロータリーにおける自分の役割を率直に見つめ直してみるのも良いと思います。出来れば次のような自問を制定されたらどうでしょう。

- ・私にとってロータリーは何を意味しているか。
- ・どうしたらロータリーを私にとって、もっと意味あるものにすることが出来るだろうか。
- ・どうしたらもっと良く奉仕し、人々にとってロータリーをもっと意味あるものにすることが出来るだろうか。

などでも良いと思います。

英国の偉大な作家フランシス・ベーコンは「知識は力なり」という言葉を述べられております。知識は理解の土台でもあります。土台がしっかりしておりませんと、どんなに素晴らしい豪邸でもくずれて終います。ですからロータリーの素晴らしい知識を、豊かな伝統を繰り返し学ぶことが私達にとって大切なことなのであります。

会員増強のしおり：

- ・今こそクラブは会員増強の成果を再検討する時期です。各会員は次の二つの質問に「イエス」と答えることができればなりません。「自分はクラブの成長に貢献しているだろうか？ 今年度中に有資格者を会員に推薦できるだろうか？」さあ活動しましょう。奉仕に関心のある多くの人達がロータリーに入会するよう誘われるのを外で待っています。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

1月24日例会： 通常例会

1月31日例会： 会員卓話 江口悟会員、平山誠会員